

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在サンクトペテルブルク日本国総領事館

記入日 2013年1月28日(月)

1. 現地の建設工事に係る経済情報

以下は連邦統計局ペテルブルク市・レニングラード州支部のサイトからの情報。

サンクト・ペテルブルク市

資料名：2012年1月から11月までペテルブルク市内で177万8300平方メートルの住宅が建設された。

URL：http://petrostat.gks.ru/digital/region5/2007/03zil_g.htm

レニングラード州

資料名：2012年1月から11月までレニングラード州で89万4000平方メートルの住宅が建設された。

URL：http://petrostat.gks.ru/lenobl/stroit/2009/03zil_o.htm

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向（改正等がなければ記入不要）

2013年1月10日、ブレニン運輸インフラ発展委員会委員長は、同委員会の新たな入札基準を発表した。これにより、落札者を選考する際に重視する点の割合が以下のとおり変更した。

変更前： 工事の速度 45%、価格 35%、品質 20%

変更後： 価格 50%、工事の速度 30%、品質 20%

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙	添付
1	<p><u>レニングラード州</u> タイトル「デヴャトキノ地下鉄駅付近で国際バス・ターミナル建設プロジェクト検討」</p> <p>1月10日、ソコロフ運輸大臣及びドロズデンコ・レニングラード州知事出席の下、同州の交通インフラ発展に関する会議が開催され、同知事から近代的なバスターミナル及び駐車場の建設計画が発表された。同ターミナルからは毎日約500台のバスが出発する予定であり、同ターミナルと環状線をつなぐ道路建設のために、同知事は連邦予算からの支援を要求した。</p>	2013/1/15 「ヴェスチ」新聞	なし
2	<p><u>レニングラード州</u> タイトル「基礎インフラを備えた産業地区建設予定」</p> <p>レニングラード州のトスノ地区で、電気、水道、暖房等の基礎インフラを備えた100ヘクタールの新たな産業地区が整備される予定。今年中に終了する予定の第一期建設工事に、同州は3億9千万ルーブルを拠出する。</p>	2013/1/15 「ヴェスチ」新聞	なし
3	<p><u>サンクト・ペテルブルク市</u> タイトル「第二南西熱電供給発電所の建設価格が26億ルーブルに減少」</p> <p>ポルタフチェンコ・サンクトペテルブルク市知事は、同発電所建設への市予算額を152億ルーブルから127億ルーブルに変更する旨発言。同発電所の建設は2013年或いは2014年に開始される予定。</p>	2013/1/15 「フォンタンカ」通信	なし
4	<p><u>サンクト・ペテルブルク市</u> タイトル「ブロンカ港の栈橋建設開始」</p> <p>海上多機能積み換えコンプレックス「ブロンカ港」で36m渡る栈橋建設が開始された。RO-RO船タイプの貨物船の係留が可能となる同栈橋の建設は、2013年第3四半期に終了する予定。</p>	2013/1/18 「イタル・タス」通信	なし

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

特になし。